

海洋アカデミー：スルバリー環境基金が、ブランパンの支援による参加型海底保全・修復プロジェクトを発表

1735 年の創業以来、ブランパンは確固たるパイオニア精神に基づき、海洋保護に積極的に取り組んだ最初のオートオルロジュリーのマニュファクチュールの一つです。約 20 年間、海洋アカデミープロジェクトなど、水中の世界を保全するために様々なイニシアチブを支援しています。スルバリー環境基金が開始したプロジェクトは、現地のコミュニティとの協力のもと、フィリピンのパンガタラン島とシャークフィン湾周辺に海洋保護区を設立することを中心に取り組んでいます。

ブランパンとスルバリー環境基金とのパートナーシップは、ブランパンの海を支援する様々な活動の集大成である「ブランパン オーシャン コミットメント」の一環です。このプログラムは、すでに具体的な成果を上げており、特に、世界中の海洋保護区（MPA）の面積を 400 万平方キロメートル以上拡大しました。この成功は、特に、ブランパンが創設パートナーとなった「原始の海」プロジェクトが大いに貢献しています。シーアカデミー プロジェクトを通じて、ブランパンとスルバリー環境基金は、現地のコミュニティがヒューマンスケールで管理、保全を行う海洋保護区のモデルを作ることに貢献したいと考えています。このモデルには、環境やコミュニティにポジティブで直接的な影響を与え、持続可能な管理の開発を促進する強みがあります。

フィリピン諸島は世界最大のサンゴ礁が広がる海域一つです。コーラル・トライアングルに位置する島々は、世界のサンゴ種の 80% が生息する非常に豊かなリーフエリアにあります。この海の“熱帯雨林”は生命に満ちており、周囲の人々に食料や収入などの不可欠なサービスを提供します。残念なことです、この海域は人間の活動や地球温暖化の影響を大きく受けており、すぐに保護する必要があります。これらの脅威に対処して海洋生物の多様性を取り戻すため、その多様性に依存している社会と協力して、シーアカデミー プロジェクトは以下の項目を柱として活動しています。

1. 近隣の 3 つの村と協力し、シャークフィン湾のパンガタラン島周辺の 3 つの MPA（合計 150 ヘクタール）を開発します。このプロジェクトは、現地のコミュニティ、公共事業機関、基金で構成される管理委員会が管理します。
2. サンゴの破片が着床できる人工構造物を 800 個設置し、サンゴの生息地を回復します。非常に枯渇しているフィリピン諸島の漁業資源を増やすために、このサンゴの生息地には、PCC 技術（湾から魚の稚魚を捕獲、養殖）を用いて 4 万匹の稚魚を放流します。
3. パラワンにある 2 つの大学の学生とともに周囲の村々の子供や大人の意識向上を図り、教育を行います。

コーポレート：www.blancpain.com / BOC: www.blancpain-ocean-commitment.com

プレスラウンジ：www.blancpain.com/ja/press-lounge



4. 同じような意識向上を目的とした国内や世界の事例を通信やメディアを通して、今回は世界中と共有します。

短期および長期的に実施する対策のメリットを研究するため、新しい MPA を選び、モニターします。スルバライ環境基金によって作られた回復モデルを手本として、他の保護すべき海洋区域において再現することができるでしょう。

スルバライ環境基金とパンガタラン島

スルバライ環境基金は、海への情熱と現地のコミュニティを助けたいという情熱から生まれたフランコフィリピンの非営利組織です。この組織は、環境に優しいやり方で積極的に生態系を修復し、パラワン天然資源を保全、保護することに専念しています。パンガタラン島とシャークフィン湾で主に活動しています。

2012 年の発足以来、スルバライは生態系を修復するためにコミュニティに基づく幅広い活動を革新的に展開してきました。最初は湾の陸側で活動し、その後、海中でも活動しています。パンガタラン島は、以前から基金の活動のパイロットサイトです。ここでの成果を湾全体へ広げ、他の地域で現地の住民と協力して、再現することを目指しています。2016 年に初めて 46 ヘクタールの海洋保護区が設けられた以来、持続可能な戦略に基づいて現地の人々や環境、経済と関わり続けています。

リンク：www.sulubaai-foundation.com

ブランパン オーシャン コミットメント (BOC)

世界の海の探査と保全は、ブランパンにとって重要なものです。世界初の近代的ダイバーズウォッチ「フィフティ ファゾムス」誕生から 70 年近い歴史を通して、ブランパンは、海洋の貴重な資源を大切に守ろうとする探検家や写真家、科学者、環境保護運動推進者たちと緊密な関係を築いています。そしてこのような関係が、海洋に関する重要な活動やイニシアチブを支援しようというブランパンの意識を高めたのです。

ここ数年、「ブランパン オーシャン コミットメント (BOC)」は、海洋学に関する取り組みに資金援助を行うだけでなく、「原始の海」プロジェクト、ローラン・バレスト氏の「ゴンベッサ」プロジェクト、『エコノミスト』誌が主催する「ワールド オーシャン イニシアチブ」、毎年ニューヨークの国連本部で開かれる「世界海洋デー」などの組織と提携し、活動を展開しています。

これまでに、ブランパンが情熱を傾けて実施してきた、海の探査と保全の支援に関するすべての活動が目に見える成果を上げています。とりわけ、世界中の海洋保護区域の拡大に対する貢献は顕著で、その増加面積は 400 万平方キロメートルを超えています。